

太田 洋（おおた・よう）

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー 弁護士

【略歴】

1991年東京大学法学部卒、1993年第一東京弁護士会弁護士登録、2000年ハーバード・ロー・スクール修了（LL.M）、2001年米国NY州弁護士登録、2001年～2002年法務省民事局参事官室（商法改正担当）、2003年1月西村あさひ法律事務所パートナー、2013年4月～2016年3月東京大学大学院法学政治学研究科教授、現在、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業パートナー弁護士。

（株）リコー社外監査役、日本化薬（株）社外取締役、（公財）ロッテ評議員、日本取締役協会幹事、同協会コーポレート・ガバナンス委員会副委員長、経済産業省「最低税率課税制度及び外国子会社合算税制のあり方に関する研究会」構成員、同「対日M&A課題と活用事例に関する研究会」委員、同「公正な買収の在り方に関する研究会」委員。

近著に、『敵対的買収とアクティビスト』（岩波新書、2023）、『デジタル株主総会の法的論点と実務』（共編著、商事法務、2023）、『別冊商事法務 No.470 新しい買収防衛策の考え方』（共著、商事法務、2022）、『論点体系 金融商品取引法〔第2版〕第1～3巻』（共編著、第一法規、2022）、『新しい持株会設立・運営の実務〔第2版〕』（監修、商事法務、2022）、『新株予約権ハンドブック〔第5版〕』（共編著、商事法務、2022）など多数。